

1 南砺市立中学校部活動のあり方検討に係るこれまでの経過

(1) 「南砺市立中学校部活動のあり方検討委員会」の経過

回	日時	協議内容
第1回	令和2年12月18日(金) 19:00～21:00	○委員会組織決定 ○教育委員会原案の説明 ○グループ討議
第2回	令和3年2月5日(金) 19:00～21:00	○生徒数減少による部活動削減の方法について ○グループ討議 ・部活動削減シミュレーション ○全体討議 ・人気のある部活動だけが残し、一部種目が消滅してしまうことを確認
第3回	令和3年3月19日(金) 19:00～20:30	○全体討議 ・拠点化による部活動の設置について 拠点校化の方向で進めることを全会一致で決定
第4回	令和3年10月25日(月) 19:00～21:00	○全体説明会、地域説明会等の参加者アンケート結果等について(報告) ○地域移行、拠点校化の方法・手順等について(協議)

(2) 「中学校部活動の拠点校化」の内容に関する市民への周知の経過

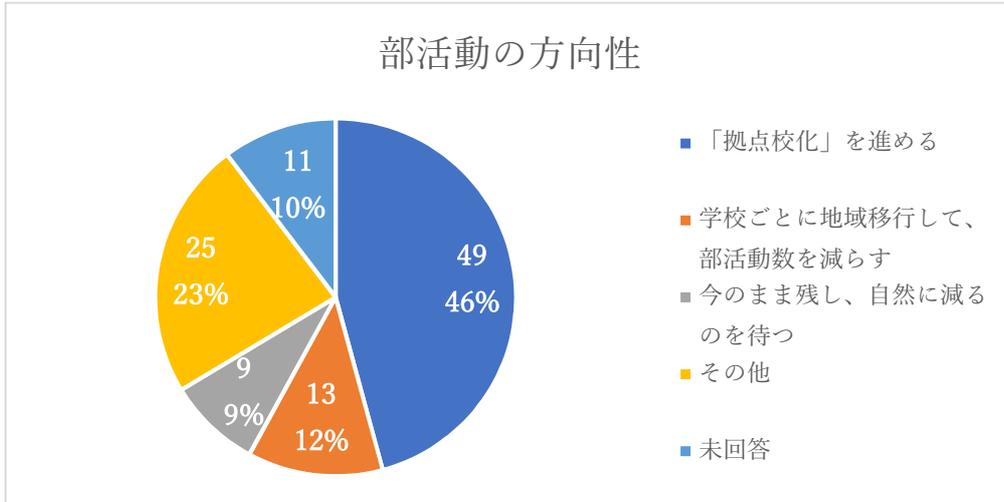
	会合名等	日時	会場	参加者数
1	南砺市中学校 部活動のあり方 全体説明会	4月28日(水) 19:00～	井波総合 文化センター	79名
2		5月9日(日) 14:00～		57名
 				
3	動画配信 「南砺のよさが生きる 中学校部活動を目指して」	5月25日(火)～	YouTube	1,829回 再生
<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>「南砺 令和の教育改革」</p> <p>南砺のよさが生きる 中学校部活動を目指して</p> <p><small>南砺市教育委員会</small></p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>動画サイトURL https://bit.ly/3ff00Za</p> </div> </div> <p>※ 中学校教員には、校内研修等で全員が視聴していただくよう依頼 アンケート回答率 47.4% (54名/114名)</p>				
4	「南砺・令和の教育 改革」地域説明会	6月16日(水) 19:00～	福光東部小学校 体育館	38名
5		6月17日(木) 19:00～	南砺つばき学舎 第2体育館	41名
6		6月22日(火) 19:00～	福光中部小学校 体育館	41名
7		6月25日(金) 19:00～	井波小学校 体育館	32名
8		6月28日(月) 19:00～	城端小学校 体育館	24名
9		7月1日(木) 19:00～	福野小学校 第2体育館	63名
10		7月6日(火) 19:00～	上平小学校 体育館	20名
11		7月7日(水) 19:00～	利賀複合教育施設 アークス体育館	20名

12	動画配信 「南砺・令和の教育改革 地域説明会」	7月25日(日)～	YouTube	229回 再生
<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;">  <div style="text-align: center;"> <p>動画サイトURL</p> <p>https://www.youtube.com/watch?v=H7Un3N-EB5s</p> </div> </div>				
13	中学校部活動に関する生徒代表との意見交換会	8月6日(金) 9:30～11:00	南砺市役所 別館3階 大ホール	16名 (各校生徒 代表2名)
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> 				
14		9月24日(金) 19:00～20:30		5団体 34名
15	中学校部活動に関する指導者団体等との協議	9月28日(火) 19:00～20:30	南砺市役所 別館3階 大ホール	5団体 31名
16		9月30日(木) 19:00～20:30		4団体 33名

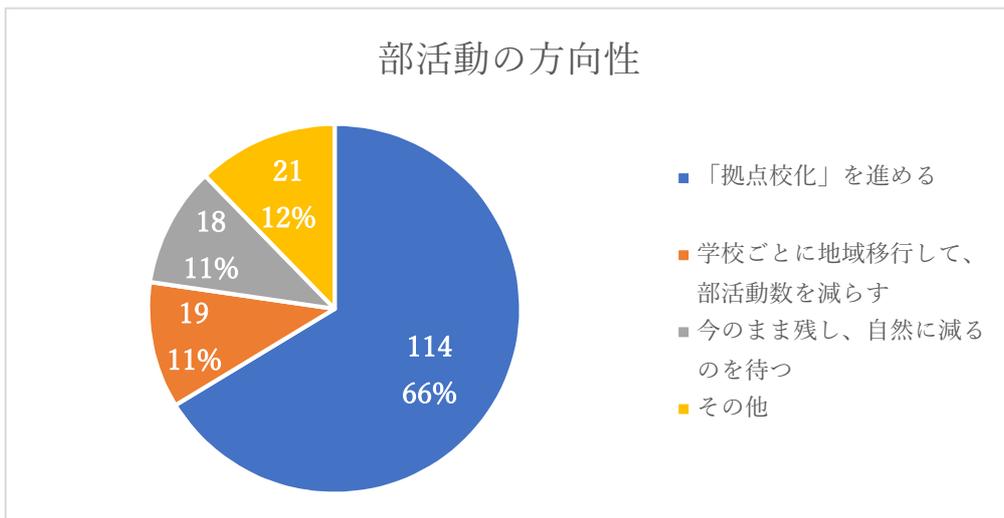
※ YouTube 動画には、Web アンケートサイトも掲載し、全市民の意見を聴取できるようにしている。

(3) 「中学校部活動の拠点校化」に対する市民の意識

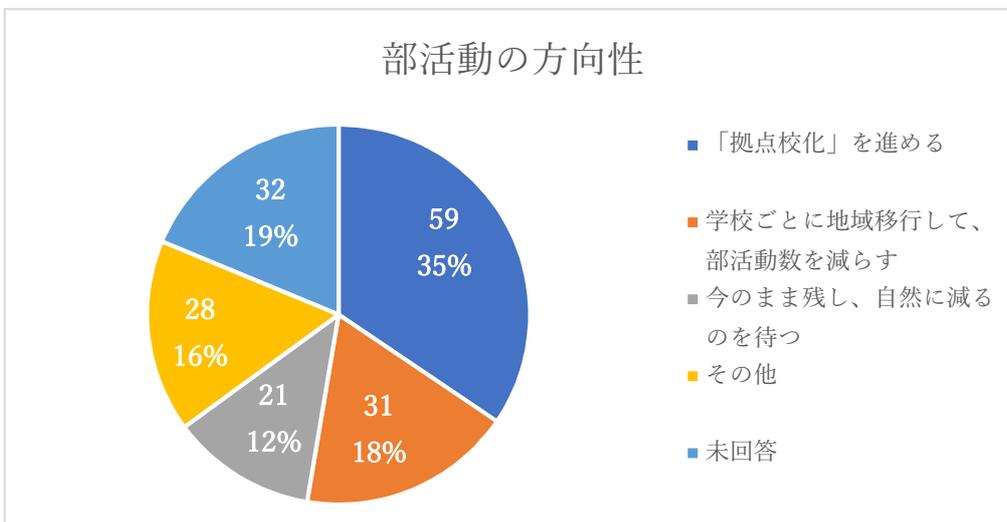
① 南砺市 中学校部活動のあり方全体説明会アンケート 回答率 78.7% (107/136 名)



② 動画配信「南砺のよさが生きる中学校部活動を目指して」 Web アンケート 回答数 172 名



③ 「南砺・令和の教育改革」地域説明会アンケート 回答率 61.3% (171/279 名)



④ 中学校部活動に関する生徒代表との意見交換会

<主な意見・質問と回答> 賛成、どちらかと言えば賛成の立場 8名
反対、どちらかと言えば反対の立場 5名
賛成・反対の立場が明確でない、未定 3名

ア. 拠点校化案に賛成。部活動の選択肢も増えるし、どうしてもやりたい人は校区外の学校で、他の人は、自分の校区で友達と部活動ができる。

→ 基本は、自分の校区の中学校に進学し、他の学校へ行きたい人は、家族の送迎か公共交通機関を利用して通学する。

イ. 賛成だが修正が必要な部分がある。夜の活動に、塾や送迎の都合がつかず、負担になる人もいるので、夜の活動は賛成できない。

→ 全員が夜の活動に参加しなくても、放課後の活動だけ参加するケースも考えられる。

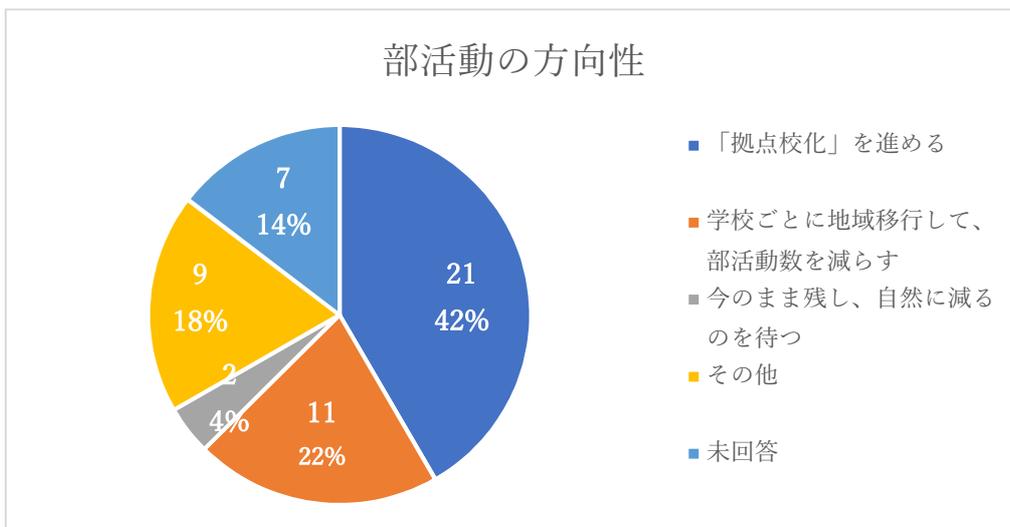
ウ. 部活動の拠点校化には反対。クラブチームを組織して拠点化することを提案する。部活動の拠点校化は上を目指すアスリートにとってはよいが、楽しみたいと考えている生徒にとっては苦痛になるのではないか。

→ 今も、クラブチームで活動している種目があり、そのような種目が増えれば、部活動での拠点校は減る。将来的には、そうなればよい。ただ、教育委員会がクラブを組織することは残念ながらできない。

エ. 拠点校化して特認就学を可能にすると人気のある部活動がある学校に生徒が集まり、人数の少ない部活動がある学校の生徒が減るのではないか。

→ 拠点校化をすれば、バランスよく配置しないといけない。また、自分の校区で活動が続けられるように、小学校段階の活動と中学校の部活動を連動させられるとよい。

⑤ 中学校部活動に関する指導者団体等との協議 回答率 43.9% (43/98 名)



※ 種目によって方法が異なるとの考えや複合的な方法との考えから、複数選択者あり

中学校部活動に関する生徒代表との意見交換での意見・質問と回答

日 時：令和3年8月6日（金）9：30～11：00

場 所：南砺市役所 別館3階 大ホール

参加者：16名（各校代表2名）

No.	質問・意見	回答
①	<p>反対とまでは言えないが、賛成。もう少し変えてほしい。例えば、自分の学校からサッカー部が無くなると、体育のサッカーでサッカー部が中心となった学習が成り立たなくなるのが不安。</p>	<p>体育は心配しなくても、授業を工夫してくれる体育の先生がいる。</p>
②	<p>夜の活動はあまり賛成できない。 夜の活動は、他の活動（塾など）をしている人の生活が変わったり、送り迎えが難しかったり。 そこまで熱が入っていない人にとっては、苦痛になり、嫌いになってしまう人もいると思う。</p>	<p>放課後の活動だけ参加する人がいるケースも考えられる。 仲間として一緒にやっていたら、だんだんがんばろうかなと思ひ、みんなでがんばれるようになったらよい。 そのことで、グループが2つになったら困る。各学校の顧問の先生がしっかり対応してくれる。</p>
③	<p>拠点校化で、各学校の選択肢が減ってしまう。特認就学を可能にするとあるが、<u>サッカーや野球などの人気のある部活動がある学校に生徒が集まり、人数の少ない部活動がある学校の生徒が少なくなるのではないか。</u></p>	<p>人気のある部活動は<u>1つだけではなく、複数</u>かもしれない。これは、中学生が決めたり教育委員会が決めたりできない。地域の指導者が、何か所で指導できるかで決まる。 拠点校化するなら、<u>いろいろな学校にバランスよく配置</u>しないといけない。 できるだけ自分の校区で活動が続けられるよう、スポ少と中学校部活動の活動地域を連動させられるとよい。 学校も友達も部活動も同じ校区で一つの幹となればよい。</p>
④	<p>拠点校化は賛成。部活動を楽しめなかった。週に1回、月に2回でも、部活動について話し合う時間があればよかった。 しかし、<u>拠点校化で、自分のように部活動にストレスを感じる人も出てくると感じる。</u></p>	<p><u>部活動に力を入れたい生徒だけでなく、そうでない生徒も取り組めるような部活動設置も、学校と相談しないと</u>いけない。 新しい視点をもらった。教育委員会でも、その視点で学校とも相談していきたい。</p>
⑤	<p><u>クラブチームの組織化・拠点化を提案する。</u> 拠点校化に反対の理由は、そもそも、学校に部活動は必要ないと思うから。 上を目指して頑張りたい人、みんなと楽しみたい人、実力も違えば部に対する熱量も違う。そうすると仲間割れや争いが起きる。実際の事例もあり、3年間仲間と過ごせばよい結果を得られる可能性は少ないと思う。それは、学校で部活動をする目的にも見合っていないと思う。 拠点校化の案は、上を目指すアスリートへの対策で、<u>楽しみたいと考えている人にとっては苦痛になってしまうのではないか。</u></p>	<p>今も、ある種目では、クラブチームで活動しているケースはある。クラブチームの立ち上げは、民間の方でやる種目が増えれば、部活動での拠点校化は減っていく。 ただ、クラブチームを教育委員会で組織することは、残念ながらできない。</p>

⑥	<p>先生も通常の仕事に加え、部活動も見なければならず、すごく大変な先生も出る。外部コーチに協力してもらおう部も増えたが、全てを外部コーチに任せることはできないため、学校の先生も大変な部分が出てしまう。</p> <p><u>学校と部を切り離し、技術向上を目指す人はクラブチーム、楽しみたい人は部活動に代わる放課後 30 分程のクラブ活動で活動する方法がよいと思う。</u></p> <p>クラブチームには、いろいろな地域から集まり、盛り上がるし、同じ志をもつ人とレベルの高い練習ができ、本来の部活動のねらいを達成できると思う。</p> <p>課題はあるが、試合出場時は、先生に引率してもらい、学校の枠で出場。陸上競技や新体操などで、そうしている。しっかりクラブチームを組織化して地域と協力すれば、競技力向上ができ、レベルの高いチーム作りになる。クラブチーム以外の生徒は、学校で友達と楽しく過ごせ、先生方の負担も減る。</p>	<p>富山県は、先生方が勤務時間を超えて部活動の指導をしているが、都会では、部活動は 16 時 45 分で終わる。更に高めたい人は、クラブで活動している。</p> <p>南砺市の現状では、クラブチームがほとんど無い。そうなる子供たちがどこでも活動できないので、先生方と地域指導者が協力して部活動をしている。</p> <p><u>多くの種目でクラブチームが組織されるとよいが、急には、クラブチームが組織されないと</u>思う。南砺市には、いろいろなスポーツや文化芸術の指導者がたくさんおられる。今なら、地域だけでなく、南砺市全部の子供たちに指導をしていただける。</p> <p>将来、クラブチームが増えれば、拠点校化の部活動は減っていく。それは、よいこと。15 年後ではなく、今の小学生や生まれている子供にすぐに、少しでもよい環境を整えたい。</p>
⑦	<p>クラブチームを組織するのは、今すぐはできないということか。</p>	<p>クラブチームを教育委員会で組織することはできない。</p>
⑧	<p>拠点校化には賛成だが、例えば、吹奏楽をやりたいとき、他の中学校にしかない場合は、部活動の時間に移動しないといけない。スクールバス運行がなければ、保護者の送迎になり、仕事で送迎できないと部活動に参加できないので困る。</p>	<p>部活動の時間に移動するのは、無理がある。どうしてもその活動がやりたい人には、他の学校に入学することを許可すればどうかと考えている。朝から新しい友達と暮らし、その中で部活動ができればよい。</p>
⑨	<p>拠点校化してしまうと、その学校の文化が失われたり、他の学校の行動のよさに気付かなかったりする可能性があるのでは、あまりよくないのではないか。</p>	<p>特認就学が認められても、多くは、同じ校区の中学校に進学すると思うので、その学校の文化は失われることはないと思う。</p> <p>活動が充実すれば、上位大会への進出の機会も増え、多くの学校のよさも学べるようになる。是非、そうなってほしい。</p> <p>「勝った」「負けた」だけでなく、部活動で規律ある行動や礼儀なども大切にしているのはうれしい。</p>
⑩	<p>拠点校化案に賛成。部活動の選択肢も増えるし、どうしてもやりたい人は保護者と相談して他の学校へ行ってもいい。小学校の時に何もやっていない人は、自分の校区の中学校に進学すれば、友達もたくさんいて、楽しく部活動ができる。</p>	<p>基本は、自分の校区の中学校に進学するが、他の学校へ行きたい人は、通学のことを考えると、家の人に送迎してもらうか、公共交通機関を使って通学することになる。</p>
⑪	<p>拠点校化には賛成だが、シーズン制を取り入れても、実際に複数の活動をやっている人はおらず、1つの活動に集中して活動したいという人が多いので、シーズン制を取り入れてもあまり変わらないと思う。</p>	<p>この方法はうまくいかないなと思うところは、中学校のみんなとも相談し、よい案があれば教えてほしい。それを是非取り入れる。</p>
⑫	<p>拠点校化案に賛成だが、<u>地域の方の指導方針に違いがあると生徒が混乱する</u>と思うので、同じ種目は、最低 2 か所は必要だと思う。</p>	<p>その点は、<u>指導者にも考えていただかないと</u>いけないところ。そのことも指導者に伝えたいと思う。</p>

⑬	<p>人気の部活動をバランスよく配置するということが、地域によって子供の人数も違い、人気の部活動の人数は変わる。クラブチームを市で1つか2つ作ることで、他の校区の中学校へ入学することがなくなり、もともと一緒だった仲間と学習ができる。また、他の地域の人とも楽しむことができ、人数も増えていろいろな練習が可能になったり、チームが長く存続できたりする。</p>	<p>ある学校に人数が偏る可能性があるという指摘は、市議会からもあった。そこは、また、しっかり考えていく。</p>
⑭	<p>よいと思ったところは、地理的条件への配慮の利賀地域の部分。今はバドミントンしかないが、他のことに取り組みたい人もいないので、選択肢が増えるからよい。</p> <p>勝ちたい人と楽しみたい人に分かれるという意見があったが、<u>地域の指導者が本気でやりたい人を指導して、みんなで楽しみたい人は学校の先生が指導するなど役割分担すればよい。</u></p>	<p>なかなかチームスポーツは成り立ちにくいかもしれないが、赴任された先生と生徒の特質によってできる活動をすればよいと思っている。</p> <p><u>地域の指導者と先生の役割分担のアイデアも出てきた。しっかり伝えておく。</u></p>
⑮	<p>拠点校化はどちらかというところと反対。小学校の時からその地域にあるクラブチームで活動していた場合は、特認就学で他の校区の中学校に入学しやすいが、中学校からある活動をやりたかったときに、拠点校化によって自分の校区の学校からその活動が無くなってしまった場合、<u>小学校の時に何もやっていなかった人の選択肢が減るので、どちらかと言えば反対。</u></p>	<p>確かに、<u>選択肢が減るということは問題点だ</u>と思っている。小学校のときの活動の状況によって、他の校区の中学校へ行きたいと思うこともあると思う。逆に、<u>小学校の時に何もやっていない子供が、ある活動をやりたいたからと言ってその活動がある他の校区の中学校へ入学することは少ないのではないか。小学校段階の活動から、どの中学校に進みたいか一度判断する機会があったらよい</u>と思っている。</p>
⑯	<p>拠点校化にはあまり納得できない。理由は3つある。</p> <p>一つ目は、<u>スクールバスが運行されない</u>ので、<u>送迎で家族に迷惑がかかる</u>ということ。</p> <p>二つ目は、<u>自分の地域に自分が取り組んでい</u>る部活動を残したいということ。</p> <p>三つ目は、<u>送迎してもらおうと家族に手間をかけてしまうことを生徒が気にして、校区の学校に行くことで選択肢が減ってしまうこと。</u></p>	<p>確かに、言うとおりに思う。ただ、小矢部市はホッケー、氷見市はハンドボールが強いのは、<u>きっと指導者とのめぐり合わせ</u>だと思う。南砺市の<u>指導者がチームとしてよい指導環境になると、どの活動であったとしても、充実した活動が送れるのではないかと</u>思っている。</p>
⑰	<p>拠点校は反対。移動で部活動の時間がどんどん減って、練習が全然できないと思うし、行った先の中学校は知らない人ばかりだと思うので、反対。</p>	<p>教育委員会が提案しているのは、部活動の時間に移動するのではなく、朝からその中学校で授業も一緒に受けて、部活動もするというのを考えている。</p>
⑱	<p>拠点校の案に賛成。<u>中学校にある部活動と同じ活動を小中一貫してやるのはよい</u>と思う。</p>	<p><u>小学校段階で取り組む活動が鍵になって、中学校部活動だけの改革ではだめではないか</u>ということ。その点もしっかりと伝える。</p>
⑲	<p>拠点校化に賛成か反対か決めていない。拠点校化で人間関係が変わって、人間関係のトラブルが起きてしまうのではないかと不安がある。<u>拠点校化する前にトラブルが起きない対策をした方がよいのではないか。また、団体競技でチームワークを高めるのに時間がかかるのではないか。</u></p>	<p><u>人間関係をしっかりと整える必要がある</u>ということ。そのこともしっかりと伝える。</p>

<p>⑳</p>	<p>無理に部活動に固執する必要があるのかと思った。<u>ねらいを達成するためにスポーツや文化芸術活動をする人もいれば、どの部活動にも所属したくない人は、その時間に話し合い活動をしてねらいを達成できると思う。</u></p>	<p>そういう考え方もあり、そのとおり。 教育委員会では、がんばったら勝てたり、がんばって負けたら悔しく思ったり、最低限そういうことを感じられるようにしてあげる必要があると考えている。今の少人数での部活動は、試合には出られるけど、がんばっても勝てない環境ではだめではないかと考えている。 教科の学習と違って、部活動は個に応じて自分で選択できるということが重要だと考えている。大人になったときに、この部でよかったと言える活動ができるようになったらよい。 <u>なかなか、やりたいものがない生徒への配慮についても大切にしていきたい。</u></p>
<p>㉑</p>	<p>やりたい部活動が自分の学校に無くて、他の学校へは送迎の関係で行けないとなったとき、やりたくもない部活動に入らざるを得ないということになってしまう。</p>	<p>今もそういう状況があるのかもしれない。部活動の数が増えようと減ろうと、自分のやりたい活動を選ぶのか、これまで一緒の友達を選ぶのか、決断の時はやってくる。決断しなければいけないことは、これからたくさん出てくる。そんな時に後悔しない選択ができるようになってほしい。</p>
<p>㉒</p>	<p>みんなの話を聞いて、トラブルが起きるのが怖いなど思った。せっかく選んだのに、部活動に行きたくなくなってしまうと嫌だなと思った。</p>	<p>これは、部活動の拠点校化だけでなく、どこでも起こることかもしれない。先生方にしっかり見ていただかないといけない。しっかり相談できる環境も整えていきたい。安心してほしい。</p>

中学校部活動に関する指導者団体等との協議での意見・質問と回答

【第1日目】

日時：令和3年9月24日（金）19：00～20：30

場所：南砺市役所 別館3階 大ホール

参加者：34名

No.	質問・意見	回答
1①	<p>10年後には福野中学校以外は、ひと学年がほぼ1クラスか2クラスの規模の学校になる。ひと学年1クラスの学校は教員数10名に満たず、ひと学年2クラスの学校で20人いない。そうなるとチーム担任制が運用できるか疑問。10年後も継続してできるかどうか疑問。10年もたないのであれば、今から統合することを計画し、それを踏まえて今の子供たちを生かしていくようにシフトしていくべき。</p>	<p>他の方からも同様の意見を聞いている。学校のあり方は概ね5年ごとに見直しを行うことを考えており、令和6年度には、また議論をする。統合の話になると、総論は賛成でも各論になると難しい部分もあり、意見を十分に聞きたいが、拠点校化を進めておくことで、もし、地域に学校を残さずに統合することになったときも、部活動をそのまま移行できることも考えている。部活動改革の問題は、学校のあり方と関連はするが、今は、切り離して考えている。学校のあり方については、検討委員会を設置して協議することとなっているが、現在の方向性としては、地域に学校を残すという方向になっている。今、そのことを議論しだすと部活動の内容にならないのでご理解いただきたい。</p>
1②	<p>学校統合には10～15年かかるという話の一方で、学校の見直しについては3年後に行うという話はおかしい話。今すぐやれば、10年後に極端に減っていく流れに、もしかしたら間に合うかもしれない。8校を存続する方向性が決まったとはいえ、これだけたくさんの方が上がっているのだから、見直しはすぐすればよいのではないかと。当然、部活動のあり方も並行して進めるという方向性で進めてほしい。</p> <p>ただ単に、部活動の見直しだけが進んでいるのはおかしい。大変かもしれないが、将来の子供たちのために、現在の子供たちのために是非汗をかいて欲しい。それであれば、いろいろな会合に毎回参加させていただく。</p>	<p>現段階で教育委員会の立場でそのことを約束することはできない。南砺市立学校のあり方検討委員会を出していただいた方向性を市が受け止めているので、事務局の立場で検討を始めるといったことは言えないが、そのような意見が複数の方からあったことを踏まえて、今後のことを考えていきたい。</p>
1③	<p>8月23日の市議会の特別委員会で、ある議員から「8中学校を残していくことが、議論の余地もないことになっていることに市民は疑問をもっている」ということが投げかけられていた。事務局から「改めて時間をかけて市民の皆さんに正確な対応をすべきだと思う」と答弁された。その答弁からすると、議会の方向性は出ていないのではないかと。8月23日あるいは9月10日の段階では、議員の中では8中学校の方向性は決定されていないのではないかと。</p>	<p>学校のあり方は、市議会でも「将来の学校あり方検討特別委員会」を設置され、これまで2回対応している。事務局も出席し説明している。市議会として8中学校存続の方向性を了解されているかどうかは、結論は出ていないかと思うが、市当局としては、「南砺市立学校のあり方検討委員会」で議論をされた8中学校区に義務教育学校を設置の方向性で進めていくことを決定していると捉えている。それに対していろいろな意見があることは分かっているが、市議会として決定されるのかどうか分からない。外部の有識者からの提言について、市もその方向性で進めているということ。</p>

1④	決定していないということか。	市の方向性としては、そのように決定しているが、いろいろな意見の方がおられるので、今後修正もあり得るということ。方向性としては決定しているという受け止めで、教育行政に取り組んでいる。地域、市民の皆さんの声を聞いて定期的に見直しの機会を作るという意見を付して提言がされたので、定期的に見直しの会議を開催するという事は決まっている。
1⑤	特認就学制度を利用したいと考える子供がどれだけいるか分からないが、ほとんどは地元の中学校へ行きたいと考えている。少年団の加入率が30%程度と考えると、本当に続けたいと思う子供は10%あるかどうか。その子供たちのことを考えた全体の動きをするのはどうなのか。もう少し、やり方があるのではないか。例えば、福野中学校と井波中学校が将来的に統合するという見通しが出れば、福野中学校から井波中学校へのバスを出すというようなやり方をすれば、運行に係る負担は減らせる。その辺りの将来的な流れが分かる状態でなければ、競技団体はどの学校にどの競技を残すかということを出せないのではないか。	統合の方向は現段階ではない。今の学校の教育環境はとてもよいので、この環境をわざわざ捨てて統合しようとは考えていない。何人かの子供たちのためというより、今の部活動でチームが組めない状態や自分がその種目をやっていた顧問の割合が3割を切っている状態の部活動が、子供にとって本当に幸せかということ考えたときに、今日集まっていたいただいているような指導者にしっかり指導していただいた方が、子供たちは幸せなのではないかと思っている。
1⑥	拠点校化によって、ひとつの学校にチームスポーツは一つ配置するのが限界で、二つは無理。吹奏楽部は楽器の置き場所が問題で、夜間となると、顧問の先生が9時まで学校にいた。学校内の施設や機材を利用する活動は、どうしても学校を開けなければいけなくなるという部分も今後考えなければいけない。	部活動は大切な活動だが、部活動のために学校を統合することはない。文部科学省の方針の部活動は地域へ移行するということから、部活動を中心とした学校統合は考えられない。学力を付けたり、地域を大切にしながら本物を学んだりするという環境をつくるということが第一義にあると思う。しかし、部活動も大切なので、指導者の皆さんと一緒に子供たちを育てる環境をつくりたい。
1⑦	統合をせず、ひと学年にクラスしかなくなると、9年間同じ人間関係で過ごすことになる。2～3クラスあれば、クラス編成があり、人間関係で不登校になる子供たちへ対応できると考えられるが、5年ごとの検討では、間に合わなくなるのではないか。	ご自身の経験からのご発言ということで、そのようなことを考えられると受け止めている。統合しなければ部活動のことは解決しないというお二人からのご意見を聞いた。
1⑧	<u>いろいろな地域から活動に参加している場合、中体連の大会に出場できるのか。</u>	<u>中体連の大会出場には、学校に部活動が設置されていなければいけない。部活動が設置されていない学校の生徒は、中体連の大会出場はできない。協会等が主催する大会は出場できる。陸上や水泳などは特設部として学校長が認め、設置しているので出場している。しかし、引率教員が確保できない場合は断らざるを得ないことも予測される。</u>
1⑨	特設部であっても他の学校の部活動指導員が引率できるようになれば助かる。	顧問を配置できないところに部活動指導員だけを配置するのは現状として難しい。制度上は、複数校の部活動指導員を兼務できるが、対戦相手となったときに、どちらの学校のベンチに入るのか、生徒の心情的な面等について全国的にも課題となっている。

1 ⑩	外部指導者として登録すれば解決できるのではないか。	学校教育法に定められた「部活動指導員」でないと単独で引率ができない。
1 ⑪	<p>指導者に対しては、統合はできないから何とかしてくれと言っているが、ルールがあると言って指導者を自由に動かす努力がない。ルールを緩和してくれないと指導者は身動きがとれない。</p> <p>先程からの意見にも「できない」と言うばかりで、こちらの思考の余地はない。議論にすらならない。緩和する意思がない。指導者が自由に動けるように学校の決まりを自由にしてくれないと身動きが取れない。学校の人数を増やす努力さえしない。8校を1つにすれば人数は増える。チーム戦もできる。そこに指導者が集まればよい。</p>	8校を1校にすればすべて解決するという意見だと理解した。
1 ⑫	今ある部を減らして、新しくチャレンジできないのもショックだし、例えば、別の地域から引っ越してきた子供がやりたいことが他の中学校にしかなく、送迎もできないと、取り組めないことになる。つぶす話ばかり。	ご意見としてお聞きした。
1 ⑬	<p><u>拠点校化と地域移行が混同して伝わってくる。地域移行はクラブ化の形に聞こえ、それなら、拠点校化ではなくても、もしかしたらできるかもしれない。その場合は、中体連の大会出場ができないという問題があるので、組織的な話で解決してもらわなければいけない。地域移行は教員の働き方改革の面で、必ずやっていかなければいけないことなので、実現させたい。それと拠点校化とは話は別。子供たちのためにならないと思っている方や指導者はたくさんいる。別々に議論してほしい。</u></p>	<p>クラブが中体連の大会に出場する件については、機会あるごとに訴えているが、なかなか変わらないのが現状。</p> <p>指導者と団体が協議されたときに、部活動で残すよりクラブ化の方向で進めたいと考えるケースも当然あり、それは選択肢の一つ。教員の勤務時間内で部活動を終え、あとはクラブで活動ということになれば、子供たちはなかなか動けないし、対応できる家庭も多くない。指導者の皆さんが協力していただいたら、今ならよい環境を整備できないかというのが、今回の地域移行の部活動という考え方。<u>南砺市の子供たちの実態や地域の広さを考えたとき、地域ごとに地域移行できるほどの指導者が確保できず、そう簡単に体制が整わないだろうということ</u>で、<u>地域移行と拠点校化をセットにして提案している。</u></p>
1 ⑭	<p>活動場所の使用料の「一部」という文言が気になった。活動者が使用料の一部を支払うのか。また、支援を「検討」という文言が気になる。指導者が部活動の一翼を担うと考えると、今から検討となると少し不安が残り、<u>支払います</u>と言ってほしかった。</p> <p>大会や練習試合等への参加についても言える。例えば全国大会等への引率に顧問以外の外部指導者への補助を検討してもらえるのかという部分を明示してもらわないと話が先に進まないのではないか。</p>	費用の面は、予算を決める仕組みがあるので、 <u>しっかりと要望をしていきたいし、話が詰まってきたら、もう少し具体的な金額や方法等について説明できるようにしたい。</u>

1 ⑮	今後のスケジュールについて、 <u>本当に令和6年度から完全実施ができるか。団体としていつまでに話をすればよいのか。</u>	市民への周知を丁寧に行ってきた関係で遅れている。団体等で協議していただく時間も必要。 <u>全ての種目で来年4月から移行期間に入るの難しいと</u> 考えている。来年4月から移行できる種目から実施するなどの <u>修正も必要</u> と思うが、 <u>南砺市立中学校部活動のあり方検討委員会に諮りたい。</u>
1 ⑯	現在の中学校の陸上競技は他の部活動の生徒も地区大会に出場している。拠点校化すると出場したいと思う生徒が出場できなくなる可能性があるのか。	地区大会では、各学校での特設部として設置して出場することが可能。
1 ⑰	<u>地域移行は、必ず進めていかなければいけないということか。</u>	<u>地域移行は、進めていかなければ、教員の勤務時間で終了しなければいけない部活動になっていってしまうと</u> 考えている。
1 ⑱	拠点校化は、 <u>地域移行を各学校で進めると、無くなる種目が複数出てくるから、1つは残しておくことが重要だ</u> ということか。	<u>拠点校化で最低1つは残したい</u> という願い。
1 ⑲	学校によって活動時間に格差が出ている。活動時間の確保について教育委員会で公平性を保つような指導をお願いしたい。	勤務時間内のことは市教委としても指導はできるが、勤務時間外のことを指導できない。5時間目の後、部活動を行っている学校は、工夫をしているところで、よい面を他の学校へ広げてほしい。教育課程を決めるのは教育委員会ではなく、 <u>学校長。</u>
1 ⑳	顧問の手当でもしっかりつけられるよう配慮してもらいたい。	手当等について市教委で決められること、 <u>国・県で決められていて変えられない</u> ことがあり、市教委や学校でできることは子供たちのために考えていきたい。

【第2日目】

日時：令和3年9月28日（火）19：00～20：30

場所：南砺市役所 別館3階 大ホール

参加者：31名

No.	質問・意見	回答
2①	個人の考えでは、この方法でやるのは仕方のないこと。ただ、これが完成するのは、数年後の話で、 <u>現6年生など、この内容の流れに乗れない状況の子供たちは、どのような対応をしていけばよいのか。</u> 例えば、部活動のない学校の子供は転入を考えざるを得ないのか、転入するとすれば何かケアがあるのか。	今後の検討委員会で整理をし、 <u>現6年生が不利益を被らない、迷うことがない進め方についても協議し、制度設計をしていきたい。</u>
2②	「兼職兼業」とはどういうことか。	学校の教員は公務員なので、他から報酬を得ることができない。申請をし、許可されれば報酬を得て従事することができる。
2③	スポ少は会費をもらっているが、報酬をもらわず、ボランティアで指導している。マイナーな競技は、なかなか子供が取り組まない状況があり、3年程前から幼児対象の教室をやっているが、子供がだんだん上達していくのを目の当たりにするのが楽しい。スポ少で教えた子供が中学、高校と進んでいくうちにどう成長するか、どうまくなっていくかが楽しくて指導してきた。生涯を通じて関わることを大切にしている。地域で種目がなくなれば、その後の継続がストップする。その種目の部活動を再度設置することは難しい。最終的にはクラブや道場にすればよいのか考えている。 <u>種目や地域によって考え方は違い、即結論は出ない。個人競技の種目では団体は組めないが、一人でも取り組むことが可能。このことも考えてほしい。</u>	大変すばらしい指導理念で感銘を受けた。また、後継者も育っており、このようなつながりや好循環がいろいろなスポーツ・文化活動で可能になることを教育委員会としても願っている。 <u>いろいろな種目を残したいが、一方で、子供の人数が少ない中で成り立たなくなっているという現状があり、各中学校の部活動配置数は絞らないといけない。学校ごとに絞ると無くなる種目がでて、指導者の芽がつぶれてしまうことから、南砺市のどこかに配置できるようにするという提案。</u>
2④	剣道は、各地域でスポ少が盛ん。小学生と中学生が合同で練習しているのがほとんど。地域移行の状態をすでにやっている。剣道は拠点化でなくても可能。個人競技と団体競技で状況は違うので、個人競技は地域移行がむいているのではないか。 中学校の部活動がなくなり、高校でその種目をやらない子供が増えれば、大人になってもその種目はやらないということになり、指導者もいなくなる。さらに、協会も縮小化し、つぶれてしまうという危機感もある。 <u>種目に応じた方法で進めていくのがいい。</u>	全ての種目で拠点校化に決め切って進めていくことは考えていない。 <u>指導者の方の意見も聞いて、指導者にとっても、子供たちにとっても、その種目にとってもよい方法にした</u> い。いくつかの形があると思っている。 ただ、子供たちの人数は減っていくので、例えば、福光地域には2つの中学校があり、 <u>福光中と吉江中には同じ部活動を設置しないなどの工夫は必要</u> と思っている。 大変参考になるご意見、ありがたい。
2⑤	福光に小学校で剣道に取り組んでいる子供がいるが、福光中にも吉江中にも剣道部がないので、 <u>校区を取り払って他の学校へ行けるようにすることも含め検討をお願いしたい。</u>	そのことは、「特認校制度」ということで説明しているが、 <u>住所を移さずに他校区の学校へ入学できるようにすることも考えている。</u> その場合は、保護者の送迎という部分で難しい課題はある。

2⑥	<p>顧問が未経験者という場合もある。部活動が集約された場合、経験者の先生が携わるというようなことは考えているか。</p>	<p>現在、自分が経験したことのある種目を顧問している割合は、3割程度。現状は経験がなくても、顧問になったら一生懸命勉強してやってもらっている。</p> <p>全部の先生に顧問を担ってもらおうと考えている。ただ、種目の経験がない先生には、よい人間関係の構築や生活面のケア等での指導を考えている。<u>必ずという約束はできないが、経験のある先生を拠点校に配置できるよう努力する。地域指導者としてもやりたいという先生が頑張れる環境はつくりたい。</u></p>
2⑦	<p>集約されたとして、<u>中体連等の大会への出場</u>については、<u>どうなるのか。</u></p>	<p>競技団体が主催する大会については、クラブチームとして、どの中学校の在籍でも出場可能。中体連は、運動部活動の組織なので、中体連の大会は、各学校に部活動として設置されていないと出場できない。機会あるごとにクラブの出場も認めるなどの大会出場要件の緩和について要望しているが、なかなか、緩和されないのが現状。今後も申し入れていきたい。</p> <p>中体連大会への出場には、<u>部活動として設置されている必要がある</u>ので、<u>拠点校化を提案している</u>。大会出場には教員または部活動指導員の引率が必要な<u>ので、部活動として設置しなければいけない。</u></p>
2⑧	<p><u>一律ではなく種目によって進めてほしい。</u>チームスポーツは、指導者のスタイルがあり、指導者が一緒にやれと言われてもなかなかできない。やりたい子供が多いメジャーなスポーツとは違い、指導しているバレーボールは一生懸命人を探して、チームを作っている。できる限り今あるチームを継続できるようにしてほしい。男子でいえば、富山県でも南砺市のチームはそれなりの競技成績を出している<u>ので、強いチームがなくなっていくは悲しい。</u></p> <p>富山市や金沢市では校区外でも就学しているが、子供と親がその覚悟をもって校区を越えることは当たり前の話。がんばろうと思う子供を育てないといけない。小学校からしっかり教え込み、自分はそのスポーツをするという気持ちをもたせたい。小学校でしっかり教えないと中学校で強いチームにならない、中学校で強いチームにいないと推薦で高校に入っていくけない。今のスポーツは指導時期が早くなっており、小学校段階でしっかり教えないと、その後、続いていかないので、小学校段階の活動の手助けもお願いしたい。</p> <p>拠点化については、いずれはそうなるいくかもしれないが、人を探してできているうちは、それぞれ活動できるようにしてほしい。</p>	<p>スポ少についても、子供が減っていて厳しい状況。スポ少のことについて教育委員会が言える立場ではないが、スポーツ少年団も中学校の部活動を見据えて協力してほしいと思っている。</p> <p>今後、<u>競技団体ごとに何度か協議してもらい、意見を持ち寄って、南砺市全体のことを考えていきたい。「南砺市中学校部活動のあり方検討委員会」に報告をして、検討をしてもらいたい</u>と思っている。</p>

2⑨	拠点校化には賛成。部活動のことだけではなく、だんだん1町1校の形になっていく中で、子供たちの新たな出会いが得られれば、子供たちにとって大変プラスになる。	
2⑩	夜の活動には反対。子供は家庭で家族と一緒にご飯を食べさせるべき。勉強したい子供もいる。やっとの思いで部活動をしている子供が、夜までやると考えたらかわいそう。且中に指導者を何とか確保して、つばき学舎のように5限終了後に午後3時から5時まで部活動を行うスタイルが取れれば、できる。	夜の活動は、参加せずに家庭で過ごすことも考えられる。中学生との意見交換会でも、必ずしもしっかりと部活動に取り組みたいという子供ばかりでなく、放課後の1時間話し合い活動をするなど、ゆったりと取り組む部活動があってもいいという提案もあった。そのような子供たちの活動の場も、つくっていききたい。
2⑪	指導者の育成については、市役所で採用し、午後4時から指導ができるようにしてほしい。市役所中心に子供たちのために時間を割いてやっていただけないかと希望する。	指導者の育成については、提案の内容も含めて市役所、地域の企業の皆さん、自営業の皆さんなどいろいろ考えていきたい。今後提案していきたい。
2⑫	山間部の小規模校については、現在ある部の拠点が他の学校になることで、流出することが懸念される。小規模校にどの部活動が残るかによって、その先の高校の存続にも影響がある。小・中・高一貫してやっているの、全国大会でも活躍する子供が出ている。その辺りが心配。	地理的条件を考慮した部活動の設置を工夫して、これまで取り組んできた活動を継続してできるようにすることも考えており、協議していきたい。
2⑬	そのことによって子供が平野部に流出して、大人になってから地元で指導者としても地域の人間としても帰って来ないことになることと悲しい。それは避けたい。	
2⑭	スキーは特殊で、4か月の間に絞って活動をする種目。特にアルペン、クラブチームで見ている。これまで、その体制でやっているし、市外の子供も集めてやっている。今回の拠点校化でどうなるのかが分からない。	スキーのようにクラブで活動するのが理想的。子供が少ない、地理的な問題もあることから、拠点校化を考えた。現在のクラブへつながるような形になればよいと考えている。
2⑮	水泳は昔からクラブで活動している。ただ、指導者は、プロとして活動しており、謝金も高い。既にクラブとしてやっているところにも謝金や保険料、施設使用料の補助をしてもらえるのか。	謝金については交通費程度の金額になるのではないかと考えている。
2⑯	公共施設再編の問題もあるが、水泳は、プールがないとできない。施設自体がなくなるとクラブチームも成り立たなくなってしまう。	施設については、別の組織で考えているところなので、ここでは、明言できないことを理解してほしい。
2⑰	謝金についてはある程度の金額でないと指導が継続されていかない。保険加入や施設使用料については支払ってもらわないと活動できない。	それらのことは、詳細まで検討をしていない段階。謝金については、具体的な額をこれから検討していきたい。予算化する際には手続きがあるので、要望も聞きながら、詰めていきたい。

【第3日目】

日時：令和3年9月30日（木）19：00～20：30

場所：南砺市役所 別館3階 大ホール

参加者：33名

No.	質問・意見	回答
3①	<p>中学校の部活動を見据えてスポ少を削減するのはおかしい。小学校のときだからこそいろいろなスポーツを体験するべきではないか。</p>	<p>スポ少は独立した団体なので、スポ少として協議いただくこと。中学校の部活動削減で起こることとして、ある校区に小学校段階のスポ少があっても、中学校では部活動がないということをご理解いただく必要があると考えている。そうならないように、小学校段階と中学校段階の活動が継続してできる環境づくりが必要だと考えている。</p> <p><u>教育委員会としてスポ少の数を減らすことは考えていない。拠点校化が進めば、小学校で活動していても、その校区では中学校でできないこともあることを前提にスポ少の活動をしてもらえればよいと考えている。</u></p> <p>「特認校制度」が認められれば、住所地の校区でなくても就学することも可能になる。</p>
3②	<p>チーム編成について詳しく説明してほしい。</p>	<p>中体連は、<u>学校に設置されている運動部活動が所属する組織</u>。中体連の大会には、<u>中学校の部活動のみが出場</u>できる。現在、<u>チーム編成できない部活動が増えているので、合同チームの編成規定</u>ができた。あくまで、<u>救済措置として設定</u>されている。自校内での選手確保を最優先にし、安易な合同チーム編成を認めるものではないという前提がある。その上で、全中大会予選は7競技、県選抜体育大会の予選は15競技で合同チームの編成を認められている。その中で編成条件がある。</p> <p>これは、救済措置で、<u>合同チームが編成できる学校同士での編成が前提で、常に同じ学校が合同チームを編成できるわけではない。</u></p>
3③	<p>拠点校化は素晴らしい考え。懸念されるのは、例えば、サッカーがやりたいけど家庭の事情で拠点校に就学できない子供がいたときに、やりたい種目が拠点校として配置されなかった学校の子供たちが、週1回一緒に練習をするなどして、大会に出場することは可能か。</p>	<p>クラブの大会には出場できるが、中体連の大会には出場できない。</p>
3④	<p>学校ごとに部は残しておき、夜に合同練習をしながら、中体連の大会に出場することは可能か。</p>	<p>中体連の大会は単独校で出場することが基本。チーム編成ができないときに合同チームが編成できるので、常に同じ学校が合同チームを編成できるものではない。日頃、一緒に練習していても必ずしも合同チームを編成できるものではない。</p>
3⑤	<p>基本的な意見としては、学校を2つに統合するということだが、この拠点校化で吹奏楽部は対象になるのか。</p>	<p>吹奏楽部も大編成を編成する場合は、部員数が必要なので、同じ考え方。</p>

3⑥	拠点校化された学校で、人間関係のトラブル等で、校区の学校にも拠点校にも通いづらくなった時、その生徒はどうなるのか。	「特認校制度」が認められれば、その他の学校に通うことも可能になる。 日頃の先生方の指導で、そのようなことが起こらないようにしなければいけないと考えている。
3⑦	スポーツエキスパートが指導して、学校の先生が来なくてもよいように学校へ指導してほしい。	部活動指導員は単独で指導できるが、スポーツエキスパートは単独での指導ができない。
3⑧	部活動指導員就任の依頼もあったが、勤務の関係からスポーツエキスパートでお願いした経緯がある。単独指導の許可について要望をしっかりとしてほしい。	市教委だけではできることとできないことがあるが、要望していこうと思う。
3⑨	やりたい部活動のある拠点校へ転校することは、現実的には難しい。また、拠点校でやると、その地域の指導者しか関わらない。例えば、城端の指導者が福野で教えるのはできにくい状況。サッカーは、例えば、 <u>南砺市のサッカー部を廃止して、「FCなんど」というチームを作り、その中でAチーム、Bチームというような形を作り、各カテゴリで活動する方法で、オール南砺の生徒と指導者で活動する方法もあると考えている。サッカーの場合は、クラブチームと部活動のチームが一緒に出場する大会もあるので、違和感はない。ただ、中体連の大会への出場できないということ。サッカーでは、このような方法を模索していかないといけないという話はしている。 <u>中体連の大会しかない種目について、拠点校化によって就学する学校を変更するのは、なかなか難しいと感じる。</u></u>	<u>クラブチーム化はよい方法だと思っており、将来的には、いろいろな種目で、クラブ化して活動してもらえばよい</u> と思っている。 <u>種目ごとに事情が違う</u> ということだと思う。 拠点校に他校区の子供や指導者が行くのは現実的には難しいということだが、子供が減っていく中で、 <u>何とか全市的な指導体制を作れないか</u> という <u>お願いで提案</u> している。
3⑩	謝金や施設使用の面で少し考慮してもらえればよい。	支援ができるかは現段階では決まっていないが、そのような状況が出てきたときに検討したい。
3⑪	クラブ化をするときにどこに相談すればよいか。	クラブ化は、直接教育委員会等に相談する必要はなく、競技団体で協議をして進めてもらえばよい。
3⑫	クラブと学校の連携がとれた方が、しっかりと子供を見守れると思うので、競技団体で勝手にクラブ化を進められない。	生徒の指導は学校や教育委員会の責任もあるので、全てクラブに任せるということではなく、学校は、在籍生徒のことをしっかり見るということはその通り。このような内容は、教育総務課に相談してもらえば、一緒に考えていきたい。
3⑬	拠点校を絞る際に、 <u>男女の別についてどう考えるか。</u>	男女の別については、種目によって、可能な指導方法を提案してもらえればありがたい。 <u>男女を一緒にする、しないの決まりはない。</u>
3⑭	謝金については、個人に支払われるのか団体に支払われるのか。	謝金については、現段階で明確な額や支払い方法は決まっていない。要望も聞きながら検討していく。

3 ⑮	<p>「地域部活動」で何かあった場合は、どこが責任をもつのか。</p>	<p>責任の所在については、学校部活動は学校管理下だが、<u>地域部活動については、保険に加入し、けががあった場合は、それで対応することになる。</u>このことについて、<u>協議をしながらよい方法を検討しなければいけない。</u></p>
3 ⑯	<p>バスケットボールでは、大会のベンチ入りに指導者は指導資格が必要。資格取得に係る費用の補助もあれば助かる。 特別な配慮を要する生徒への対応のための知識取得のための支援は考えているか。</p>	<p>資格取得や知識の習得のための研修、活動場所の調整等詳細については、要望を聞きながら、検討委員会等で協議していきたい。</p>
3 ⑰	<p>活動場所の確保に関して、場所の調整について配慮してもらえるか。</p>	<p>拠点校化で部活動を絞ることによって、施設が使用しやすくなる面もある。</p>
3 ⑱	<p>部活動として名前を残しておく、人数が少なく出場できない年は、協会主催の大会に出場し、人数が十分で出場できる年には中学校名で中体連の大会に出場することは可能ではないか。</p>	<p>部活動の設置については、顧問教員の配置や生徒数など、様々な条件で設置できるかできないかを判断する必要がある。 拠点校化は試合に出るためだけの提案ではなく、中学校生活を充実させる活動の一つとしての部活動として考えており、各学校の部活動数は減るが、その部活動を選んでも充実した活動ができるようになるのが願い。そのためには、部活動だけでなく、学校生活をともに送ることが大切だと考えている。</p>
3 ⑲	<p>山間地域の学校は、<u>選択肢が増えることはよいことだが、人口流出につながるのではないかと考える方もいる。</u>山間地域では、地域の存続という部分にもつながるので、考慮してほしい。</p>	<p>山間地域でその種目ができるのは、今指導してもらっている方のおかげ。<u>人との出会いを大切にしながら、子供たちの充実した暮らしにつなげていきたい。</u></p>
3 ⑳	<p>今回の提案はよい一つの提案だと思うが、拠点校化しても人数が減ってしまうのは資料からも明らかで、その時点で、さらに部活動が減らすことも可能性があると感じている。 <u>他校区の中学校へ行ったが3年間レギュラーになれなかったということもあると思う。</u></p>	<p>レギュラーになれない生徒も、<u>何かの役割を一生懸命取り組むような部活動</u>を目指して考えている。顧問の先生の指導で<u>そのような生徒も生きる部活動</u>を目指していく。</p>
3 ㉑	<p>生徒数が減れば学校を統合するのが自然の流れだと考えるが、減ったときに、福野中学校に井波中学校の生徒が移動すれば、学校を改修しなくても全員入れると思うが、なぜ統合できないのか教えてほしい。</p>	<p>統合に 10～15 年かかるから、拠点校化を提案しているのではなく、井波と福野が統合したら、子供にとって本当に価値があるかを考えると、現在の井波中学校だけの方が幸せだと思っている。地域のために学校を残して子供を犠牲にするというのであれば、大反対。今後のことを考えて、保護者が望み、地域の方の合意が得られれば統合もあると思う。 例えば、福光中と吉江中を統合したとしたら、一クラスの人数が40人に近くなる半面、現在いる教員数から大幅に削減される。 学力をつけることから、少人数で学習できるのが南砺市の学校。</p>
3 ㉒	<p>先生が手厚く配置されているということをもっとPRしてもらわないとなかなか納得されないと思う。</p>	<p>精一杯PRしていく。南砺の学校は本当に手厚い。</p>
3 ㉓	<p>拠点校化しても生徒が集まらなかったというような場合に、<u>拠点校の変更は可能か。</u></p>	<p>決めたから何十年も変わらないということはないと思っている。やってみたら課題が出てきたということもあり得るので、<u>変更も必要。</u></p>

地域部活動推進事業（富山県からの委託事業 国 10/10）に係る南砺市の取組および進捗状況

① 「休日の部活動の段階的な地域移行」

① 実施学校と種目

福野中学校 … なぎなた部 南砺つばき学舎 … バドミントン部
吉江中学校 … ソフトボール部 城端中学校 … ソフトテニス部

② 指導者の確保状況

福野中学校 … なぎなた部 6名 南砺つばき学舎 … バドミントン部 5名
吉江中学校 … ソフトボール部 1名 城端中学校 … ソフトテニス部 5名

③ 課題

- ・ 種目によっては、**指導者の確保**が課題となり、**定期的な活動**が展開しにくい。
- ・ 指導者団体が管理運営するための**事務局担当者**を確保し、学校部活動と切り離す。

② 「合理的で効率的な部活動の推進」

① 実施学校と種目

福光中学校（部員 5名）
↓ ↑ の野球部で実施
吉江中学校（部員 5名）
※ 学校間距離約 2.6km



放課後部活動での送迎



2校合同での活動



合同チームによる公式戦出場
福光中・吉江中

8月（新人チーム）より

福光中学校（部員 3名）
↓ ↑ と 吉江中学校（部員 3名）
城端中学校（部員 7名） ↓ ↑ の野球部で実施
井波中学校（部員 7名）
※ 学校間距離約 8.0km ※ 学校間距離約 8.7km

② 課題

- ・ 夏季休業中は活動時間を確保できるが、授業時となると、学校間距離が遠いケースでは移動に時間がかかり、**活動時間**が削られてしまう。
- ・ 各学校の日課運行や行事予定の状況により、合同部活動の実施可能日が限られるため、**日程調整**が難しく、**継続的な実施**が行いにくい。
- ・ 中体連の大会への合同チームでの出場は規定があるため、合同部活動の対象が固定されない。そのため、**校区を越えた広域での地域移行**が行われにくく、少子化に伴う部活動の**小規模化**が進む。